

## 令和3年度 第2回 池田市子ども・子育て会議 議事録（要約）

日 時：令和4年3月9日（水）午前10時00分～11時30分

場 所：オンライン会議

出席者：石田副市長、委員11名、事務局19名

傍聴者：0名

### 1. 開 会

#### 副市長挨拶

今回、委員の皆さまの任期満了に伴い、一部委員の就退任がございました。本市では平成23年10月に子ども条例を改正し、現在の「子ども・子育て会議」を規定させていただいたところでございます。

この間、保育施設の入所を希望される世帯が年々増加しており、それに続きまして留守家庭児童会につきましても入会申込が増加してきております。また、核家族化や地域の繋がりの希薄化などに伴いまして、親も子も周囲に手助けを求めにくく、社会的孤立に陥る危険性が高まってきているような状況でございます。

本市といたしましても、保育の量の確保につきましても、引き続き保育施設の整備や保育士の確保を進め、定員の拡大を図るとともに、留守家庭児童会につきましても、新年度予算で新たな整備に関連した費用を上程させていただいたところでございます。また、妊娠期からの子育て支援体制の充実を図るため、本年4月には新たな地域拠点施設「ツナガリエ石橋」の中に地域子育て支援拠点「わたぼうし」を移転・リニューアルし、親子の交流の場・相談の場づくりに取り組んでまいります。

今後も、新たにご就任賜りました皆さま方、また引き続き再任いただく皆様方からの多様なご意見、更には的確なアドバイスなどを賜りながら共に歩んでいければ幸いに存じます。

### 2. 内 容

#### 1) 委員長及び副委員長の選任について

委員の互選により、委員長は大方委員に、副委員長は中川委員に決定。

#### 2) 認定こども園・小規模保育事業・事業所内保育事業の認可等について

《事務局説明》

- ・令和4年4月に幼保連携型認定こども園1施設、小規模保育事業2施設、事業所内保育事業1施設が開設予定です。
- ・令和4年4月に幼保連携型認定こども園1施設が認可変更し、認可定員を増員予定です。
- ・令和4年3月をもって幼保連携型認定こども園の移行に伴い認可保育所1施設が廃止予定です。

#### 3) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員の確認について

《事務局説明》

利用定員については子ども・子育て支援法に基づき、利用定員を設定する場合には子ども・子育て会議において意見をお聞きすることになっております。

今回は、案件1で説明のあった幼保連携型認定こども園1施設、小規模保育事業2施設、事業所内保育事業1施設について、認可定員と同数の利用定員を設定するものです。

同じく案件1で説明のあった幼保連携型認定こども園1施設が増員、幼保連携型認定こども園1施設が減員、幼稚園型認定こども園1施設が定員の内訳を変更、案件1で説明のあった認可保育所1施設が辞退することを報告します。

#### 《質疑応答》

Q. 新たに開設する幼保連携型認定こども園の定員が145名ということですが、利用予定数を教えてください。

A. 4月に向けての入所申込中ですが、今のところ保育が必要な子どものための定員136名中130名の方が利用予定です。

Q. 認可事務は箕面市との広域連携で行っているとのことですが、広域連携のメリットを教えてください。

A. 1つの市で取りまとめて行うことで、スケールメリットがあるということを想定しています。

Q. コロナ禍による出生数の減少により施設の定員割れも想定されますが、今後需要量の見直しの計画があるのか教えてください。

A. 来年度予定している第2期池田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの中で、保育施設の申込者数が年々増加している一方で、少子化が進んでいるところも加味しながら検討してまいります。

### 3) 令和4年度予算(案)概要について

#### 《事務局説明》

- |                            |                             |
|----------------------------|-----------------------------|
| ①留守家庭児童会運営事業<br>(児童会室の整備)  | …学校施設(教室等)を活用した児童会室の整備      |
| ②留守家庭児童会運営事業<br>(巡回支援員の配置) | …留守家庭児童会指導員育成支援のための巡回支援員配置  |
| ③ひとり親家庭養育費確保等支援事業          | …養育費確保のための公正証書作成費用への補助      |
| ④私立保育所等補助事業<br>(人件費補助)     | …体調不良時の対応等にあたる看護師への人件費補助    |
| ⑤私立保育所等補助事業<br>(処遇改善)      | …保育士等の賃金を改善するための補助          |
| ⑥保育士確保事業<br>(宿舍借り上げ)       | …保育士等の宿舍借り上げ支援事業の補助上限戸数を撤廃  |
| ⑦保育士確保事業<br>(キャリアアップ研修)    | …保育士等のためのキャリアアップ研修を池田市が実施   |
| ⑧妊娠・出産支援事業<br>(産後ケア事業)     | …病院や助産院での宿泊・通所により産後の母親のケア実施 |

#### 《質疑応答》

- Q. 留守家庭児童会の教室増設に関して、高学年児童の定員増について利用実績や推移を踏まえてどう展開されていくのか教えていただきたい。また、全児童対策と学童保育が学校現場で混在する中で、池田市における全児童対策と学童保育の住み分け、協力について教えていただきたい。
- A. 現在は令和6年度に6年生までの拡充を計画しているが、近隣市での状況等も踏まえ、第2期池田市子ども・子育て支援事業計画の見直しの中で検討していきたいと思っております。また、新・放課後子ども総合プランに基づき、全児童を対象とした子どもの居場所づくり推進事業「キッズランド」と留守家庭児童会とで連携を行っており、巡回支援員の設置により、さらなる支援環境の整備を行ってまいります。
- Q. 産後ケア事業について、保健師が家庭を訪問し、母親とお話することが1番ではないかと思っておりますが、宿泊・通所実施への移行の理由を教えてください。
- A. 宿泊・通所は移行ではなく拡充になる部分であり、例えば低体重児で母子が入院中同じ部屋になれない場合に一定のケアを行ったうえで自宅に戻るケース等を想定しています。家庭訪問については引き続き実施してまいります。
- Q. 池田市内の留守家庭児童会の統一的な運営について、どのように考えているのか教えていただきたい。
- A. 国の保育指針及びガイドラインに基づき池田市の指導要領を策定していますが、近年の保育の複雑化に伴い、現場でも対応に迷うケースもありますので、巡回支援員の配置により、全校で統一して、できる限りどの学校でも同じような対応が受けられるよう、統一的な新たな指針の制定も含め、力を入れてまいります。
- Q. 留守家庭児童会の増設に伴う指導員の補充について教えてください。
- A. 令和2年に賃金改定を行うとともに、有資格者の処遇改善も行っています。引き続き、インターネット、新聞折込広告等を活用し、国の基準で必要な人数の充足を図ってまいります。
- Q. 留守家庭児童会が今後拡充された場合、利用条件の緩和の予定があるのか教えていただきたい。
- A. 限られた枠の中で保育させていただくことを考え、現在は週4日以上・1日4時間以上・午後3時時点でお仕事されていることを要件としていますが、情勢を鑑みて判断してまいります。

#### 4) その他

##### 《事務局説明》

なかよしこども園内にある地域子育て支援拠点施設「わたぼうし」を、本年4月1日開設予定の地域拠点施設「ツナガリエ石橋」内に移転・リニューアルオープンいたします。「ツナガリエ石橋」については、「わたぼうし」のほか、図書館、ダイバーシティセンターの機能を備えています。

移転後の「わたぼうし」については、専有面積が88.51㎡と従来の約4倍に拡充しています。また、多数の玩具を取り揃え、保育士も常時4名配置することにより、専門職の知見を活かして、講座

やイベント等の企画や魅力ある空間づくりなど、多くの保護者の皆さまに親しんで利用してもらえよう、支援機能の強化に努めてまいります。

Q. 石橋駅周辺は不法駐輪が多く、以前の石橋駅前会館の駐輪場も不法駐輪によりほとんど自転車を停めるスペースがありませんでした。新たな「わたぼうし」では、今までの「わたぼうし」に比べて住宅地から遠くなっているので、自転車で通えるような形で、利用する人が不便になったと感じられないようにしていただきたい。

A. 来場者にはベビーカーを置くスペースを確保するとともに、駅前のため、自転車ではなく徒歩又は公共交通機関での来場を呼びかけてまいります。

Q. 不法駐輪について、駐輪場の整理の予定があれば教えていただきたい。

A. 施設を管理する部局と適切に対応するよう努めてまいります。

Q. 住宅地ではなく交通面で不安があるので、施設内の安全に止まらず、施設外の安全にも配慮していただきたい。

A. 施設外のところについては交通量も多いため、子供の手をしっかりと繋ぐなど、特に気を付けていただきたいことについて周知してまいります。

#### 《意見》

• 一般市民も利用される図書館、女性支援を行うダイバーシティセンターとの一体的な施設展開により、多くの方がフラッと立ち寄れるところとなり、気がかりな方達の発見ということにも繋がっていくのかなと思います。地域子育て支援拠点の保育士や利用者支援専門員、女性相談のための福祉職の配置など、自分からは来られないが課題を抱えておられる方々を察知できる専門職を配置・連携・連動することで、一体的な支援を行う地域拠点になっていくことを期待しています。